東京支部学生会　学生会報 第 26 号

Student Journal 2021

特 集

コロナウイルスの影響による各大学の変化

一般社団法人 電子情報通信学会

東京支部学生会

電子情報通信学会 東京支部学生会 学生会報 第 26 号
目次

2020年度東京支部運営委員・学生会運営委員・学生会顧問一覧 … 3

幹事校代表挨拶（巻頭文）
藤塚　さとみ（日本女子大）… 5

幹事団顧問の挨拶
小川　賀代（日本女子大）… 6

特集①：2020 年度東京支部学生会事業紹介 … 7
幹事団
藤塚　さとみ（日本女子大）… 8
学生会報
松浦　匠音（東海大）… 9
見学会
佐々木　蒼一郎（横浜国大）… 10
講演会
四宮　孝之（千葉工大）… 11
研究発表会
中野　隼輔（電通大）… 12
SCI
島田　源（都立産技高専）… 13

特集②：コロナウイルスの影響による各大学の変化 … 15
千葉大学
本橋　宏彰（千葉大）… 16
明治大学
山本　典瑛（明大）…17

学会への勧誘記事 … 19

編集後記 … 21

Copyright(c)2021 IEICE

2020年度東京支部運営委員

（敬称略・順不同）

支部長	立元　慎也	NTT
次期支部長	小嶋　徹也	東京高専
庶務幹事	平栗　健史	日本工大
庶務幹事	三好　　匠	芝浦工大
会計幹事	水野　晃平	NTT
会計幹事	平　　明徳	三菱電機
支部委員	淺原　彰規	日立
支部委員	小川　将克	上智大
支部委員	川喜田佑介	神奈川工科大
支部委員	田中　和樹	KDDI総合研究所
支部委員	坂東　幸浩	NTT
支部委員	望月　章志	NTT
支部委員	米山　一樹	茨城大
支部委員	長谷川光司	宇都宮大
支部委員	石田　和義	山梨大
支部委員	小川　賀代	日本女子大
支部委員	大和田英成	NTT
支部委員	坂木　啓司	構造計画研究所
支部委員	孫　　博	埼玉工大
支部委員	高橋　英憲	KDDI総合研究所
支部委員	樋野　智之	NEC
支部委員	間邊　哲也	埼玉大
支部委員	村上　　誉	NICT
支部委員	茂木　和弘	群馬大
支部委員	傘　　昊	東京都市大

以上 25 名

2020年度東京支部学生会運営委員

（敬称略・順不同）

委員長	藤塚 さとみ	日本女子大
委員長	箭田 こなみ	日本女子大
副委員長	柳岡 佑大	東京都市大
副委員長	門野 敦也	東京都市大
副委員長	武 亮真	東京都市大
副委員長	大崎 友広	東京都市大
副委員長	田中 耀山	東京都市大
副委員長	岡本 諒太	東京都市大
副委員長	島田 源	都立産技高専
副委員長	山本 典瑛	明大
副委員長	田中 健介	明大
副委員長	横山 大騎	明大
副委員長	松尾 宇紘	明大
副委員長	王 子牧	明大
副委員長	小林 茜奈	明大
副委員長	松浦 匠音	東海大
副委員長	佐藤 卓樹	東海大
副委員長	鈴木 裕也	東海大
副委員長	田中 秀明	東海大
副委員長	西川 峻平	東海大
副委員長	山崎 龍汰	東海大
副委員長	栗田 真帆	東海大
副委員長	嶌田 斐呂	拓殖大
副委員長	小國 治也	拓殖大
副委員長	荒川 祐也	拓殖大
副委員長	和泉 峻介	拓殖大
副委員長	菅原 瑞己	拓殖大
副委員長	佐藤 択迅	拓殖大
副委員長	吉村 仁志	拓殖大
副委員長	佐々木 蒼一郎	横浜国大
副委員長	小川 駿也	横浜国大
副委員長	伊藤 大二朗	横浜国大
副委員長	田所 真澄	神奈川工科大
副委員長	高橋 大和	神奈川工科大
副委員長	中野 隼輔	電通大
副委員長	小針 優	電通大
副委員長	中新井田 覚志	電通大
副委員長	上杉 遥司	電通大
副委員長	桑田 雅之	電通大
副委員長	伊藤 弘樹	電通大
副委員長	髙橋 玄記	日大
副委員長	長田 元気	日大
副委員長	黒澤 実花	日大
副委員長	佐々木 拓郎	日大
副委員長	田澤 陸	日大
副委員長	林 昂志	日大
副委員長	水本 明日也	日大
副委員長	森下 克幸	日大
副委員長	石川 真聡	日大
副委員長	伊藤 穂高	日大
副委員長	宇佐見 雄	日大
副委員長	開米 拓実	日大
副委員長	勝谷 孝一	日大
副委員長	加藤 真也	日大
副委員長	榊 亜理沙	日大
副委員長	松本 卓才	日大
副委員長	山口 貴大	日大
副委員長	山田 哲之	日大
副委員長	丹羽 春太	日大
副委員長	呉 迪	日大
副委員長	安藤 雄喜	日大
副委員長	荒瀬 健太	日大
副委員長	柴垣 裕紀	日大
副委員長	武藤 知晃	日大
副委員長	中沢 佑	日大
副委員長	東 貴範	日大
副委員長	三島 拓馬	日大
副委員長	佐藤 呼春人	上智大
副委員長	田山 大次郎	群馬大
副委員長	五木田 直樹	群馬大
副委員長	神立 拓実	千葉工業大
副委員長	平間 博人	千葉工業大
副委員長	四宮 孝之	千葉工業大
副委員長	高橋 琴美	千葉工業大
副委員長	平岡 龍矢	千葉大
副委員長	阿部 伊吹	千葉大
副委員長	本橋 宏彰	千葉大

以上 77 名

Copyright(c)2021 IEICE

2020 年度東京支部学生会顧問

（敬称略・順不同）

顧問	松本　洋和	青学大
顧問	横田　浩久	茨城大
顧問	荒川　臣司	茨城高専
顧問	熊谷　　毅	宇都宮大
顧問	清水　隆志	宇都宮大
顧問	平岡　隆晴	神奈川大
顧問	塩川　茂樹	神奈川工科大
顧問	石坂　雄平	関東学院大
顧問	阿部　清彦	東京電機大
顧問	弓仲　康史	群馬大
顧問	加藤　　毅	群馬大
顧問	重野　　寛	慶大
顧問	田中　敏幸	慶大
顧問	篠原　克幸	工学院大
顧問	大平　昌敬	埼玉大
顧問	池口　　徹	東京理科大
顧問	鯨井　政祐	埼玉工大
顧問	三好　　匠	芝浦工大
顧問	武藤　憲司	芝浦工大
顧問	相馬　隆郎	首都大
顧問	田川　憲男	首都大
顧問	小川　将克	上智大
顧問	林　　等	上智大
顧問	小林　　学	早大
顧問	花山　英治	職業能力大
顧問	杉山　賢二	成蹊大
顧問	高見　一正	創価大
顧問	常光　康弘	拓殖大
顧問	大竹　　敢	玉川大
顧問	佐藤　雅俊	玉川大
顧問	小室　信喜	千葉大
顧問	伊與田光宏	千葉工大
顧問	鎌倉　浩嗣	千葉工大
顧問	小林　一哉	中央大
顧問	小舘　亮之	津田塾大
顧問	河崎　雅人	帝京科学大
顧問	松浦　基晴	電通大
顧問	野村　英之	電通大
顧問	藤井　威生	電通大
顧問	濱本　和彦	東海大
顧問	川原　圭博	東大
顧問	永田　明徳	東京工科大
顧問	黒川　弘章	東京工科大
顧問	田中　　晶	東京高専
顧問	山岸　昌夫	東工大
顧問	吉野　隆幸	東京電機大
顧問	岡野　好伸	東京都市大
顧問	傘　　昊	東京都市大
幹事	高野　邦彦	都立産技高専
顧問	柴崎　年彦	都立産技高専
顧問	横井　　健	都立産技高専
顧問	田中　聡久	東京農工大
顧問	藤沢　匡哉	東京理科大
顧問	佐伯　勝敏	日大
顧問	齊藤　　健	日大
顧問	黒岩　　孝	日大
顧問	大貫進一郎	日大
顧問	木許　雅則	日本工大
顧問	小川　賀代	日本女子大
顧問	亀井　利久	防衛大
幹事	李　　磊	法政大
顧問	井家上哲史	明大
顧問	村上　隆啓	明大
顧問	本間　　聡	山梨大
顧問	田中　良明	早大
顧問	河野　隆二	横国大

以上 66 名

Copyright(c)2021 IEICE

2020 年度学生会報巻頭言

学生会運営委員長
藤塚　さとみ

このたびは，学生会報を手にとっていただき誠にありがとうございます．

電子情報通信学会東京支部学生会は，学生員の活動を盛んにし，かつ学生員相互の親睦を図ることを目的に，電子情報通信学会東京支部の下部組織として平成7年度に設立されました．設立して以来，学生会には多くの学生員が参加し，今年度で25周年の節目を迎えました．上記の東京支部学生会の目的を達成するために，研究発表会，講演会及び，見学会など様々なイベントの開催をしており，毎年多くの方々にご参加いただいております．

学会は，研究の成果を外部に発信するとともに，研究者同士の交流を深め，知見を得る場であると思います．学生会では，より良い未来の実現の為に学術の発展を持って貢献するという学会の理念の下，今後の社会を担っていく学生の皆様に向けて，大学での研究成果の発表の場として研究発表会を，また著名人，企業の方との交流の場として講演会および見学会など各種イベントを開催していきますので，ご活用いただければ幸いです．

本誌は，多くの皆様に支えられ26回目の発行となりました．本誌では，「コロナウイルスの影響による各大学の変化」について紹介しております．

最後に日頃から多大なご支援をいただいている電子情報通信学会東京支部の方々，学生会の顧問の先生方，学生会活動にご協力をいただいた関係各位，この学生会報を手にとっていただいた方々に心よりお礼を申し上げ，巻頭のご挨拶とさせていただきます．

2021 年 1月吉日

Copyright(c)2021 IEICE

幹事団顧問の挨拶

東京支部学生会顧問幹事
日本女子大学理学部数物化学科
小川　賀代

2020年度東京支部学生会顧問幹事を仰せつかっております，日本女子大学の小川です．多くの皆様のご協力のおかげで今年度も無事活動が行えましたことを心より感謝申し上げます．

2020年度は，学生会活動においても激動の1年でした．2019年末に新型コロナウイルス感染症が発生し，瞬く間に世界中で感染拡大したことは皆さんご承知のとおりです．このような状況の中でも，研究や教育活動を止めないために，大学はオンライン授業が開始され，電子情報通信学会も本部，ソサイエティ，支部主催の多くのイベントがオンラインで開催されました．学生会においても活動を止めないよう，初回の運営委員会（オンライン開催）から各種イベントのオンライン開催の検討を始めました．運営委員会の学生たちは，初めての試みにもかかわらず，柔軟に対応し，11月には講演会をオンラインで無事に開催することができました．今年度のイベントは，オンラインによる研究発表会の開催を残すのみとなりました．予稿の投稿システムの構築からプログラム編成など，これまでとは異なる状況の中で，先輩委員が残してくれた知見を活かしながら，初めての試みに挑戦しています．準備に際して，事務局には，多大なご支援を頂き，心から感謝申し上げます．

このように例年とは異なる対応が迫られる中でも，新たな取り組みも始めました．今年度は，本部において，2020年6月から「ジュニア会員制度」が導入されました．ジュニア会員の対象者が小学生から大学学部3年生までですので，学生会の活動にも参加しやすい年代と言えます．そこで，今年度開催する研究発表会では，ジュニア会員の発表も募ることに致しました．先日，投稿受付が締め切られ，8名のジュニア会員の申し込みがありましたので，新たにジュニアセッションを立ち上げることに致しました．

大変な状況下ではありましたが，運営委員の学生さんたちは，それぞれの担当を工夫しながら遂行してくれたと思います．今年度は，学生さんたちの，躊躇することなく推進していく姿を見せて頂いた年でした．

学生会の活動は，各支部の下で学生たちが自律的に活動しています．学会は，発表や聴講するだけの場所ではありません．学生会のように，企画運営も体験できる場所でもあります．学生会の活動に興味のある学生さんは，是非，一緒に活動しませんか．ジュニア会員の皆様の参加も大歓迎です！

最後になりましたが，今後の学生会活動の発展を心よりお祈りしております．

Copyright(c)2021 IEICE

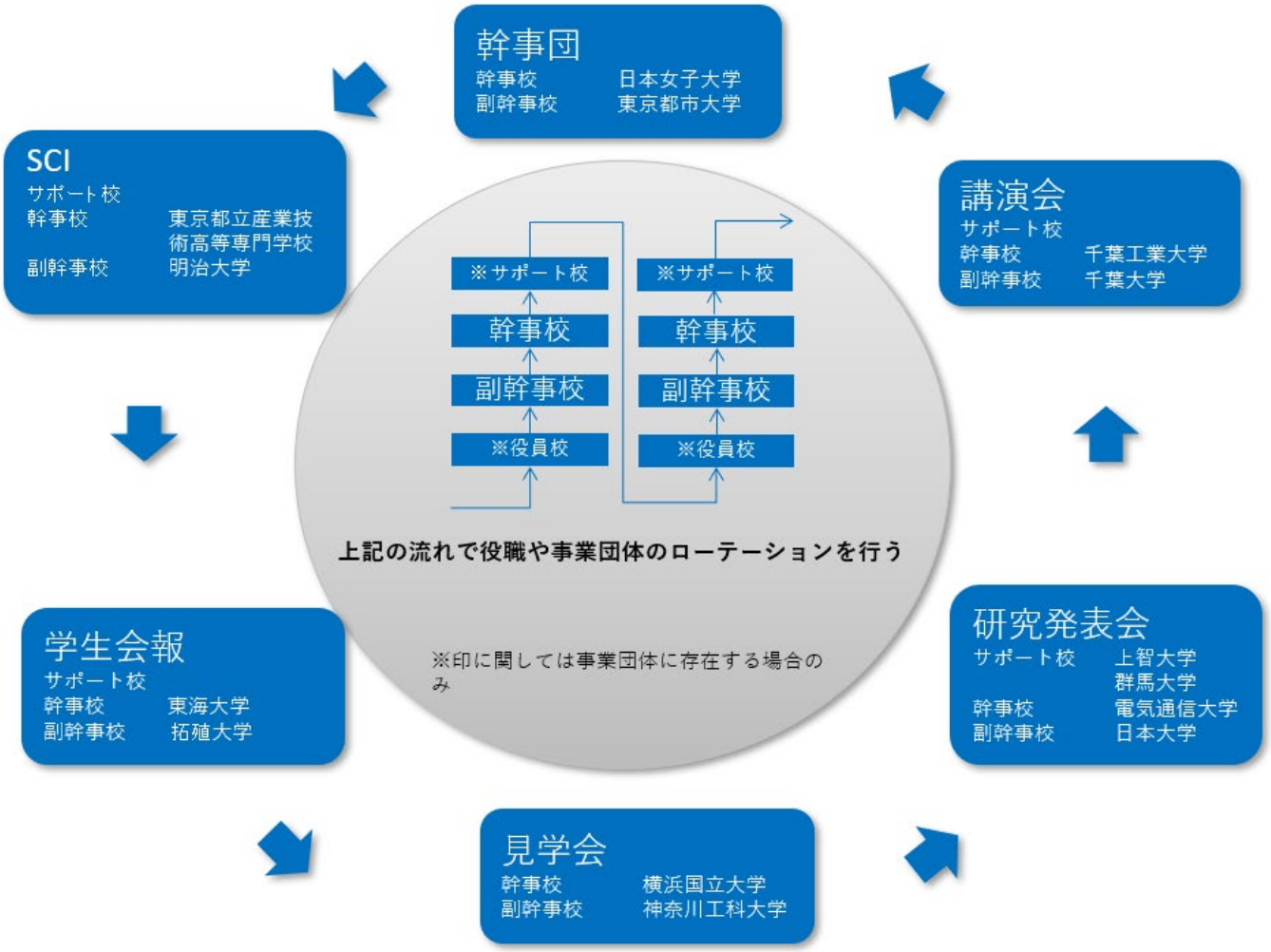
特集①

2020年度

東京支部学生会事業紹介

東京支部学生会には 14 校が参加しており，6 つの事業団体に分かれ，役職に就いています．
ここでは，今年度の各事業団体の所属校と，活動について紹介します．

2020年度　電子情報通信学会東京支部学生会　事業グループリスト



Copyright(c)2021 IEICE

幹事団グループ

活動概要

私達幹事団は，各事業グループが円滑に情報共有や話し合いの場を作る事を目的としたグループです．年 4 回の学生会運営委員会を開き，司会や議事録への記録，新しい制度や活動方針の決定などを執り行っています．また，新しい企画や活動が提案された場合，この委員会を通して参加の可否を決定します．このような活動を行い，他校の学生との交流を図ることで情報交換を行っています．

活動内容

■ 学生会運営委員会の概要

会場: オンライン開催

（例年は機械振興会館にて実施）

日程：第1回（6 月頃），第 2 回（9 月頃），

第 3 回（12 月頃），第 4 回（2 月頃）

※毎年第 2 回に昼食会を実施

時間：2 時間程度

（例年は委員会後懇親会実施）

■ 作業内容

・運営委員会の案内

・学生会運営委員会の出欠管理

・運営委員会の司会進行

・議事録の作成

・交通費の精算

・学生会勧誘ポスターの制作

・学生会名簿の管理

・委嘱状の配布

・会場の設置

今年度の活動について

今年度は対面での委員会開催が叶わなかったため，オンライン上での開催となりました．対面時と比べて委員同士の交流が図りづらい分，委員会時には各委員が発言しやすい雰囲気作りに努め，さらに他グループとの電話やメールによるコミュニケーションをより密に行うことで，例年とはまた異なる良さが出せたのではないかと思います．来年以降の委員会が対面で開催できるか，今年度と同様にオンライン上での開催となるかは未定ですが，どのような形態であっても常に柔軟な対応を心がけ，各事業グループの皆様がより円滑に事業を進められるよう，努めて参りたいと思います．

メンバー紹介

幹事校：日本女子大学

藤塚，箭田

副幹事校：東京都市大学

柳岡，門野，武，大崎，田中，岡本

（文責：日本女子大学　藤塚）

Copyright(c)2021 IEICE

学生会報グループ

活動概要

我々，学生会報グループでは電子情報通信学会において，学生員の活動を盛んにし，相互の理解や親睦を深めることを目的として学生会報誌を毎年度末に発行しております．今年度で学生会報誌も第26号となりました．学生会には様々な事業グループが存在しており，それぞれが研究発表会や講演会，見学会といったイベントの企画・実施を活発に行っております．またその一方で様々な大学が，この学生会には参加しており，各大学で学生会支部として様々な活動を行っております．学生会報誌を通じてより多くの学生に学生会の存在および活動内容を知っていただくことで，本学生会に興味を持っていただき，また学生会に参加したいという方が増えることが編集している我々にとっての励みとなります．電子情報通信学会における学生会の活動，親睦がより盛んになることを目指し，今後もより良い学生会報誌を発行していきたいと考えておりますのでよろしくお願いします．

今年度の特集記事について

本誌における特集記事は学生会に所属する2大学の「コロナウイルスによる変化」の紹介となっています．

コロナウイルスの影響により各大学では，授業形態や研究活動など多くの変化がありました．しかし，各大学の変化は所属する大学生にしかわからず，今後入学を希望している高校生や保護者は知ることができないです．そのため，本誌を通してどのような対策を大学が行っているかなど伝えることができればいいと考えます．また，これまで活動してきた皆様の記録が何年後かにこの冊子を通して残せたのならば，本会報の特集記事としての役割は十二分に果たせるのではないでしょうか．

メンバー紹介

幹事校：東海大学

松浦，佐藤，鈴木，田中，西川，山崎，栗田

副幹事校：拓殖大学

嶌田，小國，荒川，和泉，菅原，佐藤，吉村

（文責：東海大学　松浦）

Copyright(c)2021 IEICE

見学会グループ

活動概要

見学会グループでは，各企業の方々にご協力いただき，IEICE会員，学生会員及び一般学生向けに見学会を開催しております．

見学会は年に1，2回開催しており，情報通信社会を実現する最先端技術について学べるほか，社員の方にしか出来ない体験も出来ます．また，参加者同士でも親睦を深めており，非常に有意義な時間となっています．

過去の実施内容

今年度はコロナウイルスの影響を考え，見学会は中止とさせて頂きました．そこで，前年度までの活動について改めて紹介させていただきます

JAXA調布航空宇宙センター

昨年度は，JAXA様のご協力により，宇宙往還機シミュレータの体験，第二次世界大戦後初の旅客機（YS-11）のコックピットの見学などを行いました．特に，宇宙往還機シミュレータでは，近未来の宇宙航空機の在り方についてシミュレータを通して紹介して頂きました（図 1）．操縦士と副操縦士の操作により見事宇宙ステーションと地球の往来に成功した際には，非常に盛り上がりました．

図1．宇宙往還機シミュレータ体験の様子
（調布航空宇宙センター，2019/11/07）

陸上自衛隊 大宮駐屯地

一昨年度は，陸上自衛隊の方々のご協力により，化学学校について説明を頂いたり，装備品や訓練施設等を見学したりしました(図 2)．装備品資料室では，旧式の防護服から現在の防護服，馬用の防護服，毒物のサンプル等が展示されており，現役の自衛官の方から防護服の着心地など教えて頂きました．また，訓練施設の見学では，実際に訓練している部屋とその後の廃棄物の処理の流れなどを教えて頂き，自衛隊の除染技術の素晴らしさを体験できました．

図2．装備品について隊員からお話を聞いている様子（大宮駐屯地，2018/9/4）

メンバー紹介

幹事校：横浜国立大学
小川 駿也，佐々木 蒼一郎

副幹事校：神奈川工科大学
田所 真澄，高橋 大和

（文責：横浜国立大学　佐々木）

Copyright(c)2021 IEICE

講演会グループ

活動概要

我々講演会グループは，学生会の趣旨である，電子情報通信学会学生員の活動を盛んにし，かつ学生員相互の親睦をはかることを目的に，講演会の開催を通して，これを達成するための活動を行う.

今年度の実施内容

1. 可視光通信の研究動向

～ポスト5G/6Gへ向けた取り組み～

2. 学会発表のすゝめ

講演者: 木下　雅之氏

(千葉工業大学工学部情報通信システム工学科助教)

日時: 2020年11月14日(土)14:00～

会議アプリケーション: Zoom

メンバー紹介

幹事校：千葉工業大学

神立 拓実，平間 博人，四宮 孝之，高橋 琴美

副幹事校：千葉大学

平岡 龍矢，阿部 伊吹，本橋　宏彰

感想

今年度は，千葉工業大学の助教をお務めになる木下様を講演者としてお招きし，講演会を開催いたしました．参加者は27名でした．今年度はコロナ禍もあり，感染症拡大防止のためにオンラインでの開催になりました．講演内容は，木下様の研究分野である可視光通信の研究動向と，木下様の学生時代のご経験を踏まえた学会発表に向けた取り組みについてお話をいただきました．詳細な内容としては，2020年からサービスが開始された5Gや，将来の6Gに向けた可視光通信のシステム設計およびそれらの実現のための研究動向についてお話いただきました．また，木下様が学生時代に研究室に配属されてから博士課程を修了されるまでの経緯から，その中で研究活動や学会発表に向けての心構えをお話いただきました．最後となりましたが，ご多忙の中講演していただいた木下様には深く御礼申し上げます．また，本講演の開催にあたり，ご協力を頂いた事務局の皆様，当学生会幹事団の皆様，講演会グループの皆様，SCIグループの皆様，そして本講演に参加していただいた皆様に．深く感謝いたします．

（文責: 千葉工業大学　四宮）

Copyright(c)2021 IEICE

研究発表会グループ

活動概要

本グループは，毎年 2 月末～3 月上旬頃に，電子情報分野を専攻している学生を中心に募った 研究発表会を企画・運営しています． 我々は，この研究発表会を通して，参加した学生の皆様が，他校の学生や教授および企業で活躍されている方々との交流により学術的な見識を深める場を設けたいと考えております．

今年度の活動について

例年はオフラインでの一般的な発表会形式で行っておりましたが，コロナウイルスの影響を加味して昨年度は急遽開催を中止することとなってしまいました．今年度も状況が好転するか分からなかったため，年度初めの段階から運営委員会などを通して研究発表会グループ内外のメンバーや事務局と協議し，Zoom を用いたオンラインでの開催をする運びとなりました．例年と異なった形での開催のため，これまで培ってきたノウハウが通用しない部分も多く，一から検討し準備を進めていかないといけないためとても苦労しています．しかし，前向きに捉えればこれは学生会の新たな活動の第一歩でもあると思います．これまでの学生会活動は基本的に現地での活動がメインとなっておりました．来年度以降の研究発表会がどのような形となるかは分かりませんが，今回のオンライン開催の経験は今後の学生会活動で役立てていく事が出来ると考えております．

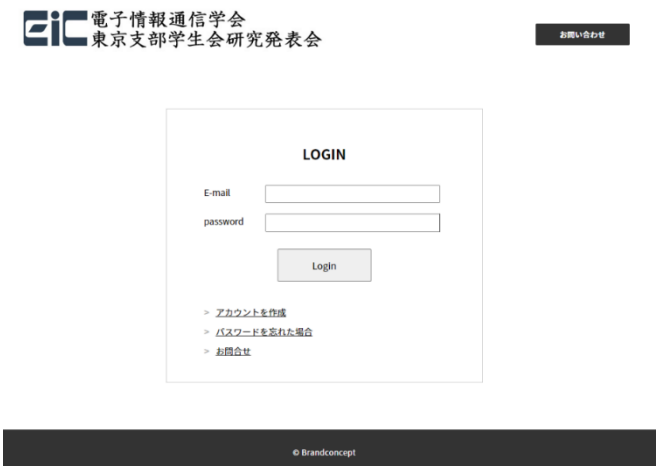
現在，発表者，聴講者，スタッフ用のマニュアル及び進行表を作成しています．発表を複数のZoom ルームで並行進行させることを考えているので，全体把握が難しく，また，学生スタッフも全員初めての経験であることから，何かしらトラブルが起きるかとも思います．その際に．スムーズに連絡を取り合えるような連絡体制，慌てずに対応できるような対応方法をあらかじめ用意しておけるようにしておきたいと考えています．

発表者，聴講者の皆様がより良い発表，議論を行える場を提供できるように準備できれば幸いです．

今年度の研究発表会の概要

開催日 ： 2021年3月6日(土)

会場 ： オンライン開催



研究発表会の参加登録ページ

メンバー紹介

幹事校： 電気通信大学
中野 隼輔，小針 優，上杉 遥司，中新井田 覚志，
桑田 雅之，伊藤 弘樹
副幹事校：日本大学
髙橋 玄記，長田 元気，黒澤 実花，田澤 陸，
佐々木 拓郎，林 昂志，水本 明日也，呉 迪，
森下 克幸，石川 真聡，伊藤 穂高，宇佐見 雄，
開米 拓実，勝谷 孝一，加藤 真也，松本 卓才，
榊 亜理沙，山口 貴大，山田 哲之，中沢 佑，
丹羽 春太，安藤 雄喜，荒瀬 健太，柴垣 裕紀，
武藤 知晃，東 貴範，三島 拓馬
サポート校：上智大学
佐藤 呼春人
サポート校：群馬大学
田山 大次郎，五木田 直樹

（文責: 電気通信大学　中野）

Copyright(c)2021 IEICE

SCIグループ

活動概要

SCI（Student Community of IEICE）は学生相互の理解を深めることを目的として設立された事業グループです．「交流促進事業」「広報事業」「他グループ支援事業」3つの事業を主な柱として活動を行っています．

・交流促進事業：

他支部との交流を深めるためのイベント開催・親睦会の実施

・広報事業：

学生会HP・SNS（Twitter, Facebook）の更新

・支援事業：

見学会，講演会，研究発表会グループ等の広報ページ制作・公開

本年度は新型コロナウイルスの影響もあり，イベントや親睦会の開催を断念せざるを得ませんでした．新型コロナウイルスが収束した後には，学生間の交流を深めていく為にも，再度イベントや親睦会を開催していく予定です．そして，他支部との交流も深め，より全国的に学生会活動をしていく予定です．

また，2018年にリニューアルされた学生会HPでは，各事業グループの活動内容やイベントの情報を掲載しています．より見やすくて使いやすいHPになるように，これからも改良を続けていく予定です．

メンバー紹介

幹事校 ： 東京都立産業技術高等専門学校
島田 源

副幹事校 ： 明治大学
山本 典瑛， 田中 健介，
横山 大騎， 松尾 宇紘，
王 子牧， 小林 茜奈

学生会 HP
http://www.ieice.org/tokyo/gakusei/

学生会 Twitter

（文責：東京都立産業技術高等専門学校　島田）

Copyright(c)2021 IEICE

特集②

東京支部
コロナウイルスの影響による
各大学の変化

多くの大学ではコロナウイルスの影響により授業形態や研究室の活動など昨年度より大きく変化しました.

ここでは，東京支部に所属している2大学の変化について紹介します.

Copyright(c)2020 IEICE

千葉大学

コロナ禍による授業の変化

千葉大学では，一部の講義を除いてほとんどの講義がオンライン化しました．今年度から本大学へ入学する方は，卒業要件として海外留学をすることになりましたが，コロナ禍によって様々な海外留学の代替措置が設けられました．実験やディスカッションを要する講義については，感染予防を徹底したうえで，対面（オフライン）で行っているようです．

授業のオンライン化によって，時間や場所を選ばず受講できるようになりましたが，疑問点，不明点の解決が難化，学部・学科のコミュニティが希薄になったように感じます．

掲載した画像は，平日昼休みのライフセンターの食品コーナーの画像です．以前は混雑していて，商品を取るのも一苦労であったのが，現在ではほとんど人がいなくなってしまいました．しかし，自宅学習等，この状況をうまく利用すれば，自学自習をする習慣が身につく良い機会となるかもしれません．

（2021年1月12日の昼休みのライフセンターの様子）

コロナ禍による研究活動の変化

研究活動の変化としても，授業の変化と同様に，自宅でできることは自宅でやる意識のもとで，活動しています．ミーティングや進捗報告，輪講などはweb会議ツールを使用して直接会って実施することを回避しています．また，学会や国際会議などもweb会議ツールを使用したフルオンラインでの実施や，現地開催とオンライン開催を併用したハイブリッド開催がよく見られます．

しかし，学内から持ち出せない機材や，実験装置の使用が必要な場合など，学校に来なければ出来ない作業もあります．研究室に来て作業する場合には，手指の消毒や換気，学生が来るタイミングをずらすなどして，感染予防を徹底しています．

コロナ禍によって，大学に限らない多くの組織において，web会議ツールやクラウドなどを使用したデータの送受信や管理が増加したと思いますが，これに伴い，ネットワークセキュリティへの関心が高まっているように感じます．今後は，自宅作業やテレワークの状況下で，データのやり取りや持ち出しを行うためのネットワークセキュリティに注目した研究が増えるのではないでしょうか．

（文責：千葉大学 本橋）

Copyright(c)2020 IEICE

明治大学

コロナ禍による研究活動の変化

研究は家から研究室のPCへリモート接続することで進めてきました．実験が必要な人は大学から定められた基準の範囲内で行っていました．私は家のPCだと1画面（研究室は2画面）なので作業効率が落ちるものの，これまで通り自分のペースで研究を続けることができたのは幸いでした．実験は大学の入構禁止期間は行うことができないため，この事態を機に卒業年度の学生のみ入構可などの特例が整備されると良いなと思います．

研究室の活動としてはミーティング，新ゼミ生との顔合わせ，他研究室との合同中間発表などがありますが，今年度は全てオンラインで行なってきました．何れもオンラインでの実施には問題を感じませんでしたが，学生同士でのコミュニケーションはかなり減ってしまったと思います．これまでは研究室に行けば自然と会話が発生し，学年を問わず交友を深められましたが，今年度はそのような機会がほぼ無かったことが残念です．特に学部生の中には研究の進め方や就職活動について不安を抱えつつも，先輩に質問しづらいと感じていた人も少なくないと思います．自分含め先輩から積極的に交流を図ることができたら良かったと反省しており，そういった風潮を残したり，取り組みを提案して卒業できたらと思います．

コロナ禍による授業の変化

授業は基本オンラインでの受講となり，実験など一部の授業は1都3県の感染者数を考慮しオンラインと対面の両方で行われていました．

これに伴い明治大学では家計が急変した学生への給付金や，オンライン授業を受講する環境をすぐに整えることができない学生に対しノートPC，Wi-Fiルータ（通信料含む）の貸し出しなどの対応がありました．

私はまだ卒業に必要な単位が残っていたため，オンラインでの授業を経験しましたが，大学院の授業は少人数で行われるものが多いため，オンラインでも質問等の発言がしやすく不満は感じませんでした．また，通学時間がないため家が遠い人には特に好評であった印象が強いです．

（文責：明治大学　山本）

Copyright(c)2020 IEICE

本会は、電子情報通信および関連する分野の国際学会として、学術の発展、産業の興隆ならびに人材の育成を促進することにより、健全なコミュニケーション社会の形成と豊かな地球環境の維持向上に貢献することを目指しています。

主な事業

機関誌の発行。電子工学および情報通信に関する講演会，討論会，講習会および見学会等の開催。
電子工学および情報通信に関する学術の調査研究。電子工学および情報通信に関する規格および標準の制定。
電子工学および情報通信または関連事業に関し功績ある者の表彰。
電子工学および情報通信に関する学問，技術の奨励および普及事業。
電子工学および情報通信に関する専門図書および雑誌の刊行。その他、目的を達成するために必要な事業。

一般社団法人 電子情報通信学会

The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

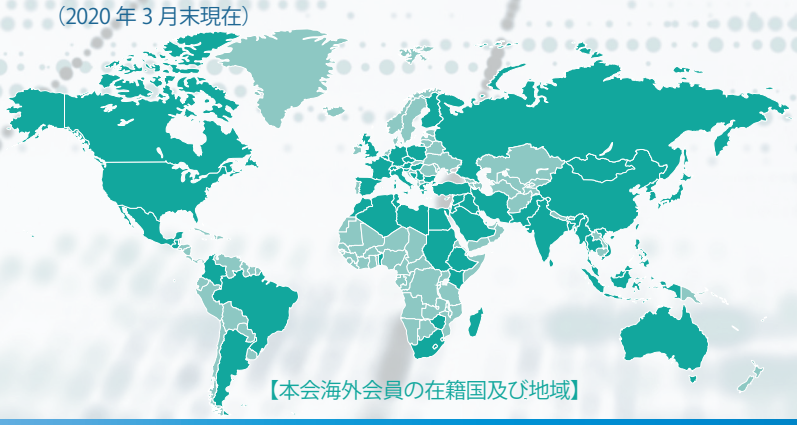
会員種別

名誉員　：学問、技術または関連事業に関して特別の功績があり、理事会の議決を経て推薦された者。
正　員　：専門の学識を有し、またはその技術に相当の経験を有する者。
学生員　：電子工学および情報通信に関係ある課程を置く学校で、この課程を履修する者。
ジュニア会員：電子工学および情報通信に興味を持つ大学学部 3 年相当以下の在学生のうち、本会の目的に賛同する者。
維持員　：本会の事業を援助するため入会する個人または団体で、理事会の決議を経て推薦された者。
購読会員　：本会の目的に賛同し、本会刊行物の購読を目的として個人以外の名義で入会する者。

会員数

（2020 年 3 月末現在）

個人会員 24,078（名誉員：99　正　員：19,795　正　員（海外）：1,193　学生員：2,575　学生員（海外）：416）
維持員：124　購読会員：273



【本会海外会員の在籍国及び地域】

ソサエティグループ

基礎・境界	https://www.ieice.org/ess/ESS/index-j.html
通信	https://www.ieice.org/cs/jpn/
エレクトロニクス	https://www.ieice.org/es/jpn/
情報・システム	https://www.ieice.org/iss/jpn/
NOLTA	https://www.ieice.org/nolta/index-j.html
ヒューマンコミュニケーショングループ	https://www.hcg-ieice.org/

支部

北海道支部	東北支部	東京支部	信越支部
東海支部	北陸支部	関西支部	中国支部
四国支部	九州支部		

一般社団法人 電子情報通信学会　〒105-0011　東京都港区芝公園 3-5-8　機械振興会館
事務所　TEL 03-3433-6691 …ガイダンス番号　●会員課 [1]　●研究会課 [2]　●大会課 [3]　●総務課 [4]
編集出版部　TEL 03-3433-6692

会長ご挨拶

我が国を取り巻く環境は大きく変化し，少子高齢化，安心･安全，資源･エネルギー，地球環境などにおいて，山積する課題の解決に向けて，情報通信技術による貢献が一層求められています．本会が果たすべき役割は拡大しており，「情報通信の夢とそれによって実現される豊かな未来社会に向けて果敢に挑戦し，革新的技術及びイノベーションを継続的に創出する学会として大きく飛躍する」ことが強く求められています．

会員を引き付ける新規分野・テーマの発掘，産業競争力につながるような取組みの強化，技術動向や先読みに関する議論の場の提供，異分野との交流活性化・サロンとしての機能強化，生涯教育・スキルアップ，国際的な積極的情報発信，海外学会との協力推進，より柔軟で自由に活動できる機会の提供など，「広汎な知が交流する場を作り，新たな学術領域をひらく」，「社会課題の解決に貢献し，新たな社会のビジョンを作成する」，「技術倫理の向上に努め，社会に向けて発信する」ことが，本会の更なる発展には必要不可欠です．

私は，グローバルに活躍できる優れた人材育成を行うことが，国力を維持し，世界における技術先導力を高めるためにも，最も重要であると思います．「夢をかなえるために，新しいことを思い切ってやり始め，能力を最大限に発揮できるよう絶えずチャレンジする」人材を育てるために，本会を大いに利用すべきだと思います．そのためには，一人でも多くの方が自発的に学会活動に参画し，楽しみながら切磋琢磨できる知的交流の場としての価値を高めることが大切です．

私は，会長として，会員の皆様が求める様々なニーズに対して，価値の高いサービスを迅速かつ的確に提供できるよう，最大限の努力を致します．同時に，会員の皆様が，自己研鑽や情報交換・交流の場として，本会を積極的に御利用頂き，様々な活動を楽しみながら，本会の一層の発展のために貢献して頂けることを大いに期待しています．皆様の一層の御支援，御鞭撻を賜りますよう，どうぞよろしくお願い申し上げます．

第 97 代　電子情報通信学会会長　笹瀬巌

2020 年度役員

役職名	氏名	所属
会長	笹瀬　巌	慶應義塾大学
次期会長	石田　亨	早稲田大学
副会長（学術強化担当）	永妻　忠夫	大阪大学
副会長（学術強化担当）	植松　友彦	東京工業大学
副会長（学会運営・組織強化担当）	松島　裕一	元早稲田大学
副会長（学会運営・組織強化担当）	山中　直明	慶應義塾大学
総務理事	大橋　弘美	古河ファイテルオプティカルデバイス株式会社
総務理事	寺田　純	日本電信電話株式会社
会計理事	中山　正敏	一般社団法人光産業技術振興協会
会計理事	足立　朋子	株式会社東芝
編集理事	川端　明生	日本電信電話株式会社
編集理事	笠原　正治	奈良先端科学技術大学院大学
企画理事	松井　知子	情報・システム研究機構　統計数理研究所
企画理事	安部田　貞行	株式会社ＮＴＴドコモ
調査理事	山田　昭雄	日本電気株式会社
調査理事	塩本　公平	東京都市大学
編集長	田中　良明	早稲田大学
企画戦略室長	水落　隆司	三菱電機株式会社
規格調査会委員長	淺谷　耕一	上海大学
ＥＳＳ会長	大橋　正良	福岡大学
ＣＳ会長	菊間　信良	名古屋工業大学
ＥＳ会長	津田　裕之	慶應義塾大学
ＩＳＳ会長	佐藤　洋一	東京大学
次期ＥＳＳ会長	髙橋　篤司	東京工業大学
次期ＣＳ会長	葉玉　寿弥	防衛大学校
次期ＥＳ会長	高橋　浩	上智大学
次期ＩＳＳ会長	柏野　邦夫	日本電信電話株式会社
監事	鈴木　正敏	株式会社ＫＤＤＩ総合研究所
監事	西原　明法	東京工業大学

編集後記

東京支部学生会 学生会報 第26号いかがでしたでしょうか.

今回の学生会報は,「コロナウイルスの影響による各大学の変化」をテーマに選択しました. 多くの大学ではコロナウイルスの影響により研究活動や授業形態などが変化しています. 各大学の変化は所属している大学生にしかわからないため, 今回の記事を通して多くの方に知っていただけたならと思います. このような未曾有の事態に直面した場合の対応の仕方をこれからの学生のために残し, 同じような事態にもし遭遇した場合に少しでも参考になればと思います.

そして, これまで活動してきた皆様の記録が何年後かにこの冊子を通して残せたのならば, 本会報の役割は十二分に果たせたと言えるでしょう.

末筆ながら, 本会報を作成するにあたりご協力頂いた皆様へ心より感謝申し上げます. ご執筆を快諾してくださった各大学のIEICE 学生会班の皆様, 本当にありがとうございました.

また, 学生会運営委員の皆様, 学会事務局のご担当者様, そして学生会報担当の皆様の御協力のおかげで本会報を作成することができました. ここに感謝の意を表します. 誠にありがとうございました.

2021 年3月1日

編集:松浦　匠音(所属:東海大学)

発行 一般社団法人電子情報通信学会 東京支部学生会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

Tel (03) 3433-6691 Fax (03) 3433-6659

E-mail: shibu@tokyo.ieice.org

https://www.ieice.org/tokyo/

Copyright(c)2020 IEICE

©一般社団法人電子情報通信学会2021
本書の内容（一部あるいは全部）を無断で複写・複製すると、著作権の侵害となる恐れがありますのでご注意下さい。